

## 安全データシート

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称	Calcium maltobionate
コンポーネント名	
商品コード	FSS社 商品コード:FSS001
供給者の会社名称	フナコシ株式会社
住所	東京都文京区本郷2-9-7
担当部門	コンプライアンス管理部
電話番号	03-5684-5107
FAX番号	03-5802-5218
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬
2. 危険有害性の要約(以下、SDSは単一物質としての評価に基づき作成)	
化学品のGHS分類	分類基準に該当しない。
GHSラベル要素	
絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	
安全対策	なし
応急措置	なし
保管	なし
廃棄	なし
他の危険有害性 重要な徴候及び想定される 非常事態の概要	特に報告されていない
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	Calcium maltobionate
CAS番号	123072-65-1
濃度又は濃度範囲	99.0% (HPLC)
分子式	C <sub>24</sub> H <sub>42</sub> CaO <sub>24</sub>
化審法官報公示番号	該当なし
安衛法官報公示番号	該当なし
分類に寄与する不純物及び 安定化添加物	データなし
以下、該当する単一成分のSDSを記載する。	
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸のしやすい姿勢で急速させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水で洗い流すこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で洗い流すこと。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最 も重要な徴候症状	データなし
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別な注意事項	データなし
5. 火災時の措置	

適切な消火剤	発火性はなし。周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	特になし
特有の危険有害性	特になし
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	防火服、呼吸用保護具を着用する。

**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 回収が終わるまで十分な喚起を行う。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	環境中に放出してはならない。 危険でなければ漏れを止める。漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
二次災害の防止策	シートで覆いをし、散乱を防ぐ。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 眼、皮膚との接触、吸入又は飲み込まないこと。
接触回避 衛生対策	「10. 安定性及び反応性」を参照。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく眼と手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。 粉末の場合、室温で保存すること。 溶液の場合、遮光して冷凍保存すること。
安全な容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

**8. ばく露防止及び保護措置**

管理濃度	未設定
許容濃度(産衛学会)	未設定
許容濃度(ACGIH)	未設定
設備対策	取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼と顔面の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態	固体
色	白色または乳白色
臭い	なし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	水溶液は弱酸性である。
動粘性率	データなし

溶解度 n-オクタノール／水分配係数	水に可溶 適用外
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の保管状態において安定。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
使用、保管、加熱の結果生じる	データなし

#### 11. 有害性情報

急性毒性	
経口	データなし
経皮	データなし
吸入	データなし
皮膚腐食性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回)	データなし
特定標的臓器毒性(反復)	データなし
誤えん有害性	データなし

#### 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	多量の水で希釈し、廃水処理を施して水質汚濁防止法排出基準に従う。 あるいは、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を依頼する。
汚染容器及び包装	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

#### 14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当なし
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
Marine Pollutant	Not Applicable

Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II, and the IBC code.	Not Applicable
航空規制情報	該当なし
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
国内規制	
陸上規制情報	該当なし
海上規制情報	該当なし
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
容器等級	
海洋汚染物質	該当なし
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当なし
航空規制情報	該当なし
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
等級	
特別の安全対策	
緊急時応急措置指針番号	該当なし

---

15. 適用法令

---

該当法規なし

---

16. その他の情報

---

参考文献	経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。</li> <li>◆本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証するものではありません。</li> <li>◆表記の試験研究用試薬以外に本データシートを適用しないで下さい。</li> <li>◆輸送中、保管中、廃棄後も含めて、内容物や容器が、製品知識を有しない者の手に触れぬよう、厳重に注意して下さい。</li> </ul>